

都市部を中心に A型肝炎患者、急増中！

平成 30 年 8 月 1 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)

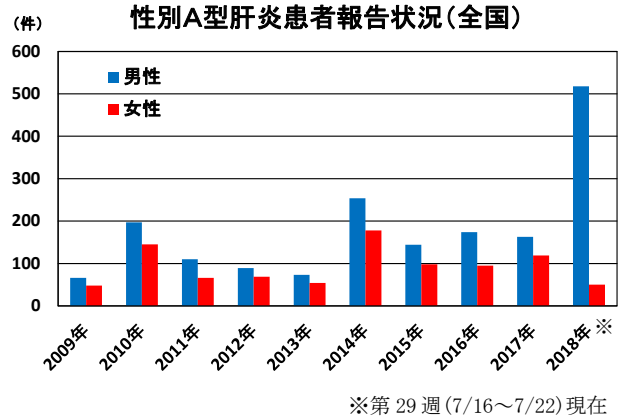
感染症発生動向速報

(平成 30 年第 30 週分・7 月 23 日～7 月 29 日)

《 インフォメーション 》

●A 型肝炎

全国では、今年に入ってから都市部を中心に、A 型肝炎の患者報告数が急増しています。第 1～29 週までの報告数は 568 件と、既に昨年 (282 件) の約 2 倍となっています (図参照)。県内では、これまで 3 件の報告があります。A 型肝炎の患者報告数は、毎年約 100～300 件で推移しており、感染経路の約 7 割が経口感染となっています。しかし今年、性的接触による感染が多く、性別で見ると、男性の割合が 9 割と非常に高くなっています。



A 型肝炎は、A 型肝炎ウイルスを原因とする感染症です。感染経路は、汚染された食物 (水、氷、野菜、果物、魚介類など) を摂取することや、ウイルスが付着した手で口に触れることによる経口感染です。過去には、貝類による集団感染も発生しています。また、性的接触による感染 (糞口感染) もあり注意が必要です。

潜伏期間は 2～7 週間程度で、発熱、全身倦怠感などの症状に続いて、食欲不振・嘔吐などの消化器症状、さらに数日後には肝機能低下による黄疸を呈します。乳幼児の感染では症状が軽いことが多いですが、年齢が上がるとう症状が重くなる傾向があり、高齢者では重症化 (劇症肝炎・死亡) することがあります。特別な治療方法はなく、対症療法のみです。

感染した場合は、症状の発現前と症状の消失後約 1～2 ヶ月の間は、ウイルスを排泄する恐れがあります。そのため、症状が消失した後も手洗い等の感染予防を心がけて、他人に感染させないように注意しましょう。A 型肝炎はワクチンで予防することが可能です。A 型肝炎ワクチンは、任意接種となります。接種する際は、医療機関にご相談下さい。

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 5 件 (①②③すべて 20 歳代、男性 ④30 歳代、女性 ⑤70 歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 件 (①10 歳代、男性、O26、VT1
②10 歳代、女性、O128、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 1 件 (60 歳代、男性、ポンティアック熱型)
- 五類感染症 百日咳 3 件 (①第 25 週診断分：男性 ②第 27 週診断分：女性
③第 28 週診断分：女性 ①②③すべて 10 歳未満)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	5.62	3.93	↑
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	1.10	→
3 位	ヘルパンギーナ	0.83	0.72	↑
4 位	咽頭結膜熱	0.52	0.66	↓
5 位	突発性発しん	0.48	0.21	↑
6 位	流行性角結膜炎	0.43	0.00	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第30週 平成30年7月23日～平成30年7月29日）

分類	疾患	今週報告分（第30週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核				1	4	5	9	10	31	11	53	114
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	1				2	3	2	2	1	10	18
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症					1	1	1	1	4	2	20	28
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									3		6	9
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4		5	2	3	14
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	6	4	13	27
	水痘（入院例）							1		1		2	4
	梅毒									1		6	7
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											4	4
	風しん										1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							2,232	1,824	3,485	2,442	5,346	15,329
	RSウイルス感染症			2		3	5	36	20	58	24	245	383
	咽頭結膜熱	6	3	1		5	15	171	61	230	25	265	752
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.00	0.13		0.50	0.52						
	感染性胃腸炎	6	4	4	2	16	32	127	91	461	206	599	1,484
	水痘	1.50	1.33	0.50	0.50	1.60	1.10						
	手足口病	42	13	34	12	62	163	826	595	922	190	2,187	4,720
	伝染性紅斑	10.50	4.33	4.25	3.00	6.20	5.62						
	伝染性紅斑					1	1	13	5	88	49	84	239
	伝染性紅斑			1			0.03						
	伝染性紅斑			0.13			0.03						
	伝染性紅斑				1	2	3	3	1	82	42	31	159
	伝染性紅斑			0.25	0.20	0.10							
	突発性発しん	1		5	2	6	14	42	33	133	37	98	343
	突発性発しん	0.25		0.63	0.50	0.60	0.48						
	ヘルパンギーナ	4	5	3	2	10	24	10	22	14	3	31	80
	ヘルパンギーナ	1.00	1.67	0.38	0.50	1.00	0.83						
	流行性耳下腺炎			1		1	2	3	5	15	3	27	53
	流行性耳下腺炎			0.13		0.10	0.07						
	急性出血性結膜炎										14		14
急性出血性結膜炎		1	1	1		3	2	12	5	3	4	26	
急性出血性結膜炎		1.00	0.50	1.00		0.43							
細菌性髄膜炎											5	5	
細菌性髄膜炎													
マイコプラズマ肺炎		1				1	2	3	5	5	7	22	
マイコプラズマ肺炎		1.00				0.20							
クラミジア肺炎										1	2	3	
クラミジア肺炎													
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）													
インフルエンザによる入院患者（*）							51	55	39	150	96	391	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。